

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 5 日 (2020.11.5)

【公開番号】特開 2019-156792 (P2019-156792A)

【公開日】令和 1 年 9 月 19 日 (2019.9.19)

【年通号数】公開・登録公報 2019-038

【出願番号】特願 2018-48207 (P2018-48207)

【国際特許分類】

C 0 7 F 7/21 (2006.01)

C 0 8 G 77/60 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 F 7/21

C 0 8 G 77/60

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 9 月 16 日 (2020.9.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

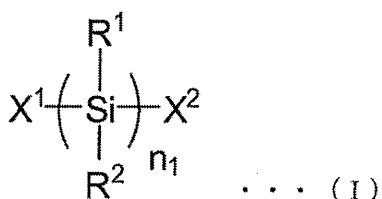
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ナトリウムディスパーションとエーテル溶媒との混合液に下記式 (I) で示されるシランモノマー化合物を添加し反応させる第一工程と、上記第一工程の反応液に芳香族炭化水素を添加し、加熱還流させる第二工程とを含む、環状ポリシラン化合物の製造方法。

【化 1】



(式中、 $\text{R}^1$  および  $\text{R}^2$  は、それぞれ独立して水素原子、炭化水素基、アルコキシ基またはハロゲン原子を表し、 $\text{X}^1$  および  $\text{X}^2$  はそれぞれ独立してハロゲン原子またはアルコキシ基を表す。 $n_1$  は 1 以上の整数である。)

【請求項 2】

上記シランモノマー化合物を分割添加する、請求項 1 に記載の環状ポリシラン化合物の製造方法。

【請求項 3】

上記混合液および上記反応液の温度は、 $-10$  以上、還流温度未満である、請求項 1 または 2 に記載の環状ポリシラン化合物の製造方法。

【請求項 4】

上記第一工程において、上記混合液が第 1 の温度である期間に上記シランモノマー化合物を添加し、上記シランモノマー化合物の添加終了後、上記第 1 の温度よりも高い第 2 の温度で反応を継続させる、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の環状ポリシラン化合物の製造方法。

【請求項 5】

上記ナトリウムディスパーションは、平均粒径  $1\ \mu\text{m}$  以上  $30\ \mu\text{m}$  以下の金属ナトリウムを電気絶縁油に分散させたものである、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の環状ポリシラン化合物の製造方法。

【請求項 6】

添加される上記シランモノマー化合物は、溶媒と混合されている、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の環状ポリシラン化合物の製造方法。

【請求項 7】

上記混合液における溶媒と、上記シランモノマー化合物における溶媒とが同じ溶媒である、請求項 6 に記載の環状ポリシラン化合物の製造方法。